

音楽とダンスの華麗なる饗宴  
上質の音楽で一流のバレエを

Manuel Legris

# Stars in Blue

BALLET & MUSIC

マニユエル・ルグリ  
スターズ・イン・ブルー  
バレエ & ミュージック



©Yuji Hori

**三浦文彰**  
ヴァイオリン

2009年世界最難関ハノーファー国際コンクールで史上最年少の16歳で優勝。NHK大河ドラマ「真田丸」の演奏も話題に。18年はロンドンでズーカーマン指揮ロイヤル・フィルと、サンクトペテルブルクの白夜祭でゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団と共演して大成功。使用楽器は、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1704年製作「Viotti」。

バレエ界のスター達との共演をとっても嬉しく思います。私は以前もこのプロジェクトに参加させていただきましたが、素晴らしいパフォーマンスを目の前に演奏するのはとても新鮮で刺激的な体験となりました。世界トップクラスの魅力的なメンバーとの踊りと音楽の親密なステージをお楽しみください。

**田村 響**  
ピアノ

2007年ロン・ティナー国際コンクール第1位。これまでに、ケルン放送響、NHK響、東京都響、名古屋フィル等と共演。ヨーロッパおよび日本でのリサイタルのほか、室内楽にも取り組み、ヴェンゲローフ、堀米ゆず子、宮田大、三浦文彰等と共演。06年出光音楽賞、15年文化庁芸術祭音楽部門新人賞等、受賞多数。京都市立芸術大学専任講師。

一流ダンサーの皆さまと共演させていただける事を、私自身も今からとても楽しみにしております。何度も共演しているヴァイオリニスト三浦さんとの音楽と華麗なバレエが融合される舞台を、皆さまにも是非ご堪能いただきたいと思います。どうぞご期待ください！会場でお待ちしております。

〔演奏曲〕

### 「ネル・コル・ピウ変奏曲」

作曲：ニコロ・パガニーニ  
演奏：三浦文彰(ヴァイオリン)  
同名のオペラのアリアによる変奏曲。2本で演奏するべき曲を、1本のヴァイオリンで演奏する難曲であり、パガニーニのヴァイオリン演奏のあまりの上手さに、「彼の演奏技術は、悪魔に魂を売り渡した代償として手に入れたものだ」と噂された。

### 「ツィガース」

作曲：モーリス・ラヴェル  
演奏：三浦文彰(ヴァイオリン)、田村 響(ピアノ)  
ツィガースとはフランス語でハンガリーのロマ民族を意味する。ハンガリー音楽から想を得て、東洋風のメロディによる超絶技巧を駆使した難曲であり、コンサートでの大人気曲である。

### 「ノクターン第20番(遺作)」

作曲：フレデリック・ショパン  
演奏：田村 響(ピアノ)  
1830年の春、ショパンがまだ20歳の頃に作曲された。誰もが一度は耳にしたことがあるだろう美しいメロディ、人生に悩む若きショパン青年の苦悩が切なく美しく心に迫ってくる名曲。

### 「華麗なる大円舞曲」

作曲：フレデリック・ショパン  
演奏：田村 響(ピアノ)  
1833年にショパンが発表したワルツ作品の第1作目。ウィーンで当時流行していたウィーナ・ワルツのブームの華やかさによって人気を博した。

2019年日本ツアー

【東京】3/8(金)・9(土) 東京芸術劇場 【大阪】3/11(日) サ・シンフォニーホール(大阪)

【宮崎】3/14(木) メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) 【愛知】3/17(日) 愛知県芸術劇場

バレエ界のレジェンド  
マニユエル・ルグリ率いるバレエダンサーと  
音楽のスターたちの夢の饗宴

Manuel Legris

# Stars in Blue

BALLET & MUSIC



Semyon CHUDIN

Olga SMIRNOVA

Manuel LEGRIS

Masayu KIMOTO

マニユエル・ルグリ  
スターズ・イン・ブルー  
バレエ & ミュージック

*Dancer*

マニユエル・ルグリ(ウィーン国立バレエ団 芸術監督)  
オルガ・スミルノワ(ボリショイ・バレエ プリンシパル)  
セミヨン・チュージン(ボリショイ・バレエ プリンシパル)  
木本全優(ウィーン国立バレエ団 プリンシパル)

*Musician*

三浦文彰(ヴァイオリン)  
田村 響(ピアノ)  
滝澤志野(ピアノ/ウィーン国立バレエ団 専属ピアニスト)

2019年

3/14(木) 開場18:15 開演19:00

メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) 演劇ホール

主催:公益財団法人宮崎県立芸術劇場 共催:一般社団法人宮崎県教職員互助会  
企画・制作:愛知県芸術劇場 企画協力:パルチェ・アソシエイツ

Dance Concert  
愛知県芸術劇場